

町会報

えひめ

2012
12
Vol.45

発行所／愛媛県町村会・愛媛県町村議会議長会
〒790-0001 松山市一番町4丁目1番地2
TEL089-941-7598(代表)
FAX089-945-1318



◀「もちうどん」

町内産のもち麦を使った、一見「そば」に見えるもち麦うどん。見た目だけでなく、普通のうどんとは一味違う特徴的な味と喉ごしを食べに来てください。なお、平成24年2月に開催された「第1回スーパーマーケットお弁当・お惣菜大賞」において麺部門大賞を受賞した「もち麦かけうどん」は、からのりの直売所で販売されています。

内子町「もち麦うどん」と「たらこうどん」

▶「たらこうどん」

内子町小田地区名物のたらこうどん。お祝い事や来客のおもてなしの際に大きなたらいに入れて食べるためその名がついています。麺が柔らかくコシが弱い為、腰の抜けたうどんと呼ばれますが、「腰が抜けるほどうまい」のでそう呼ばれるとか。ダシは大豆や煮干し、干しシイタケなどを使い、昔ながらの味です。



Contents

簡易水道全国大会	2
新町長紹介	2
全国山村振興連盟総会	3
随想 稲本隆壽内子町長	4
秋季副町長会	5
町からのお知らせ	5~6

議長会第3回定例会	7
町議会事務局長会・自治法改正説明会	7
一筆	8
12月の行事	8
編集後記	8

簡易水道予算の確保を！ 簡水協・第57回全国大会開催

シェーンバッハ・サボーで

全国簡易水道協議会は、11月22日、東京・平河町のシェーンバッハ・サボーで「第57回簡易水道整備促進全国大会」を開き、大会宣言や大会決議を決定した。本会からは稲本会長（内子町長）及び事務局職員が出席した。

大会は、牧田副会長（徳島県美馬市長）の開会の辞に続いて、厚生労働大臣表彰（6人）と全国簡易水道協議会長表彰（39人）の受賞者に表

彰状を授与した後に、受賞者を代表して埼玉県水道協会会長の加藤嘉郎氏が謝辞を述べた。

続いて、井口会長（新潟県水道協会会長）のあいさつの後に、「大会宣言」を西川副会長（熊本県津奈木町長）が朗読し、次いで議長に山崎副会長（北海道京極町長）を選んで議事に入った。

議事では、簡易水道関係国庫補助等所要額246億円の確保など4議案をすべて決定した後に、別掲の「大会決議」を小田副会長（岩手県野田

村長）が朗読し、満場一致でこれを採択した。
なお、今後、平成25年度政府予算に反映させるため、各都道府県協議会と関係市町村が一丸となって、地元選出国議員に対して要望運動を展開することになった。
最後に、西川副会長（滋賀県高島市長）の閉会のことばで大会の幕を閉じた。

決 議

国民皆水道の早期実現は、われわれに課せられた重大な使命である。

この使命を早期に達成するとともに、地方の生活基盤である簡易水道の整備近代化を強力に推進し、地域住民の期待に応えるため、われわれはこの第57回簡易水道整備促進全国大会において、当面する重要課題を決定し、特に次の4項目の実現を期して一致団結、決意を新たに最善を尽くすものである。

記

1. 簡易水道関係国庫補助所要額246億円の確保を期す
1. 簡易水道等施設整備費の補助制度の拡充を期す
1. 簡易水道関係事業債296億円の確保を期す
1. 簡易水道事業に対する地方財政措置の充実を期す

以上 決議する。

平成24年12月1日

全国簡易水道協議会
第57回簡易水道整備促進全国大会

新町長紹介

任期満了に伴う松野町長選挙が11月18日に行われ、投票の結果、現職の阪本壽明氏が再選された。

松野町長

阪本 壽明氏



大会宣言

水道は、国民生活に必要な不可欠な社会基盤施設であるにも拘わらず、今なお農山漁村を中心に水道の恩恵に浴せない地域が存在している。

これら未普及地域の早期解消は簡易水道に課せられた重大な使命であり、その早期整備が熱望されている。

また近年、簡易水道の布設は、地理的条件が悪く、建設コストは益々高額化し、更に施設の老朽化、原水水質の悪化、いつ発生するかも知れない地震等自然災害への対応などによる費用はますます増大し、脆弱な市町村財政を窮迫させている。

政府は、このような簡易水道事業の実態と役割を認識し、われわれが要望する平成25年度簡易水道関係予算を確保され、国民皆水道の早期実現と簡易水道事業の健全なる運営を図るために万全の措置を講ずべきである。

以上 宣言する。

平成24年11月22日

全国簡易水道協議会
第57回簡易水道整備促進全国大会

大会スローガン

一地方の生活基盤となる簡易水道の整備近代化—

1. 簡易水道関係国庫補助所要額（概算要求額246億円）の確保
1. 簡易水道国庫補助制度の拡充
1. 簡易水道国庫補助率（未普及地域等）2分の1以上に引上げ
1. 地震等自然災害に強い簡易水道施設の整備
1. 簡易水道関係事業債（地方債計画案296億円）の確保
1. 簡易水道事業に対する地方財政措置の充実



山村地域の振興を 全国山村振興連盟通常総会開く

11月22日

全国山村振興連盟の通常総会が11月22日「グランドアーク半蔵門」において、全国の関係市町村長らが出席し、盛大に開催された。

本県からは高野支部長（久万高原町長）ほか関係者が出席した。総会は、棚野副会長（北海道白糠町長）の開会の辞にはじまり、次いで竹崎会長代行（熊本県芦北町長）が開会のあいさつを述べた。

次に、来賓の農林水産大臣（實重

農村振興局長、山田参議院議員、藤原全国町村会長（長野県川上村長）の祝辞のあと、出席の国会議員と政府関係者らの紹介があった。

次に、松島長野県泰阜村長及び今井岐阜県白川町長が事例報告をした後、竹崎会長代行（熊本県芦北町長）を議長に選出し、議事に入った。議事では、第1号議案「平成25年度山村振興関連予算・施策の要望（案）に関する件」、第2号議案「木材（丸太）価格下落に対する対応措置に関する特別決議（案）」に関する

決 議

山村地域は、道路、情報通信、生活環境等の整備水準は全国に比べて低位な状況にあり、農林漁業の低迷、地場産業の停滞等により過疎化・高齢化が急激に進展しており、耕作放棄地の増大、森林の荒廃、鳥獣害の多発、集落の崩壊・機能の低下等危機的な状況にある。

このような状況に対するため、山村自治体は山村振興法に基づき、最大限の努力をしているが、財政事情は極めて厳しくなっている。

このため、政府は・国会におかれては、山村地域の振興を図ることこそが、国全体の発展につながるということを十分にご認識いただき、山村振興を国の重点課題に据えて、下記事項の実現を図っていただくよう強く要望する。

記

- 1 農林水産業等地域産業の向上等を図るための施設の整備等に対する取組みに対する助成措置の充実・強化を図ること。
- 1 山村地域の活性化、地域資源の活用に向けた地域の取組みを支援する交付金制度を創設すること。
- 1 「中山間地域等直接支払制度」の一層の充実・強化を図ること。
- 1 木質バイオマスの利用、再生可能エネルギー対策の強化、企業の誘致等の産業振興施策の充実・強化を図ること。
- 1 川上から川下にいたる一貫した林業、木材産業の振興・木材利用の促進を図るため、新たな交付金制度を創設する等森林・林業対策の充実・強化を図ること。
- 1 鳥獣被害の深刻化に鑑み、被害防止に関する対策の充実・強化を図ること。
- 1 道路設備のための財源を十分に確保し、特に、地方における道路財源の充実を図ること。
- 1 高度情報通信ネットワークその他通信体系の充実・強化を図ること。
- 1 山村地域住民の生活交通を確保するため、地方バス路線維持、デマンドバスシステムの導入等対策の充実・強化を図ること。
- 1 山村地域における医師及び医療従事者の確保並びに関連施設の整備、運営等への助成措置の拡充・強化等の保健・医療・福祉対策の充実・強化を図ること。
- 1 森林吸収源対策を強力に推進するため、地球温暖化対策のための税等に係る所要の税制措置を講ずるとともに地方税財源を確保・充実する制度を創設すること。
- 1 税財源の乏しい山村地域の実情に即した地方交付税制度の充実・強化を図り、所要額を確保すること。
- 1 丸太（木材）価格下落に対する対応措置を講ずること。
- 1 山村地域に壊滅的打撃を受ける TPPには、参加しないこと。

以上決議する。

平成24年11月22日

全国山村振興連盟通常総会

木材（丸太）価格下落に対する 対応措置に関する特別要望

我が国の森林資源は利用可能な段階に入りつつあり、また、国として地球温暖化防止のための森林整備などに最大限取組むことも求められております。

しかしながら、昨年末からの木材（丸太）価格の暴落は、森林所有者に大きな不安を与え、事業体の経営意欲を削ぎ、今後の森林経営見通しにも深刻な影響を及ぼしています。

よって、政府・国会におかれては、下記の事項の実現を図って頂くよう要望致します。

記

1. 切捨間伐を一部しか認めない現行の森林管理・環境保全直接支払制度を改善し、条件不利地域での切捨間伐、路網整備の先行実施など雇用にも配慮した供給調整を実施すること。
2. 再生可能エネルギー特措法による木質バイオマスの発電を積極的に推進すること。
3. 国有林野事業における木材販売時期の調整を行うこと。
4. 木材需要拡大のための森林整備加速化・林業再生基金を増額すること。
5. 公共建築物等木材利用促進法による公共建築物、公共土木分野における国産材の更なる積極的な利用促進を図ること。

る件」及び第3号議案「決議（案）」について審議し、それぞれ原案どおり決定された。

終わりに、岩崎副会長（高知県大豊町長）から閉会の辞と頑張ろうコールがあり、総会を閉じた。

ルがあり、総会を閉じた。

なお、総会で決議された要望事項については、総会終了後、全国連盟役員が分担し、その実現方を陳情した。

随 想

「ホストファミリー雑感」

内子町長 稲 本 隆 壽



ドイツ・ローテンブルク市は第二次世界大戦中、爆撃によって市街地の40%を破壊された。しかしその後、市民たちはもう一度中世ドイツの街並を取り戻そうと復元・保存に取り組み、今ではロマンチック街道の拠点都市にもなっている。

同市と内子町の交流は、今年で26年になる。内子町は江戸末期から明治・大正にかけて製蠟業で栄え、その面影を残す歴史的町並がある。この町並をどのように保全・活用していくか模索する中で、1986年にシンポジウムを開いた。その講師として市長をお招きしたのがきっかけだ。

以来今日まで、多くの住民が互いの市町を訪問し、親交を深めている。中でも、子どもたちの交流は18回を数え、延べ2000人を超える。このような積み重ねによって昨年、姉妹都市盟約を締結するに至った。

10月にも、同市からの訪問団を迎えた。私もホストファミリーとして第三市長を迎えることになった。

「どうぞ我が家へお越しください」と言っただけのもの、食事、風呂、寝室など、気掛かりなことがたくさんある。まして我が家は築80年の古民家。部屋は襖で仕切られ、何かと便利の悪い間取りである。しかし、いろいろ考えても仕方がない。一町民として、あまり構えず、できることをしようと思った。

朝食には、秋に収穫したコシヒカリを薪で炊き、自家製味噌を使った味噌汁を準備。伊方沖で釣ったアジ



の一夜干しと、自宅で漬けた漬け物などを添えた。夜は、畑の野菜と内子豚を使った鍋をメインに、内子産のワインや地酒を振る舞った。風呂は薪で沸かし、寝室には布団を敷いて、我が家の「日常」を体験してもらった。

食事中、箸が使いにくいようなのでフォークを差し出すと「ダンケ。ナイン（ありがとう、でも結構です）」料理を皿に取り分けてあげると「ダンケ」。礼儀正しく、律儀かつ勤勉で、気遣いのできる人だった。このような国だからこそ、EUでトップの国力を持っているのかもしれない。

同じ時間を過ごす中で、私自身が再認識したこともある。箸の持ち方や畳の歩き方、日本人としての立ち振る舞いなど、暮らしの中の日本文化の素晴らしさである。両国の文化や歴史的関係などの話は面白く、遅くまで議論がはずんだ。



これからも、このような草の根の交流の積み重ねが大切だと思う。これは両市町だけのことでなく、さらなる日本とドイツの友好親善にもつながるだろう。

最後に一つ。第三市長との別れの朝、一緒に笑顔で手を振り見送ってくれた妻に心から感謝している。「ダンケシェーン」。



平成24年度秋季副町長会を開催

11月30日 久万高原町で開催

愛媛県副町長会は、11月30日午後

2時から久万高原町役場会議室で「平成24年度秋季副町長会」を開催した。

会議には、県下9町から副町長及び総務課長ら13名が出席し、各町間の情報交換や町内視察が行われた。

1 開 会

2 あいさつ

栗田代表幹事（松前町副町長）

永井久万高原町副町長

3 町政の概要説明

永井久万高原町副町長から町政の概要についての説明があった。

4 各町情報交換

各町から提出のあった4題について説明ののち、各町間の情報交換が行われた。

5 町内視察

久万高原町の次の施設を視察した。

○久万高原の家・みちの駅

○ニュータウン

○久万美術館

○久万農業公園アグリピア

6 その他

次回は愛南町で開催することを確認した。



町からの
お知らせ

内子町

なが〜い
ゲレンデを満喫

四国最長1,200mのゲレンデと、安定したスノーコンディションが好評のソルファ・オダスキーゲレンデ。冬模様の石鎚山・松山平野・四国カルストを一望しながら、スキー



&スノーボードを満喫できます。また、家族連れに大人気の本格キッズパークでは、ソリやチュービングなどの雪遊びが楽しめます。ゲレンデに隣接する宿泊施設「獅子越荘」は、地元産の丸太を利用したログハウス造りで、雪山での心温まるひとときを堪能できます。スキー&スノーボードスクールや技能大会、お客様感謝デーなど、イベント盛りだくさん。ぜひお誘い合わせの上、内子の雪山「ソルファ・オダスキーゲレンデ」にお越しください。

●ソルファ・オダスキーゲレンデ

☎0862-5213232

web:www.sol-fa.com

伊 方 町

● 婚活イベントでお菓子作り体験

2月16日(土)に伊方町で独身の男女を対象とした婚活イベントを開催します。

今回のイベントは、地元でレストランを営んでいるシェフによる地元特産品を使ったお菓子作りを体験します。出来上がったお菓子と同様、甘いひとときを過ごせるようにスタッフが会場は宇和海を一望できる瀬戸ア

グリトピアです。雄大な景色の中で雰囲気よく参加できるのか、昨年度は10月、2月の2回の開催で合計11組のカップルが誕生しています。募集は「えひめ結婚支援センター」のホームページ(<http://www.msc-ehime.jp/>)で行いますので、ぜひご覧ください。※今回の募集は女性のみ行つ予定です。



会場の「瀬戸アグリトピア」

●お問い合わせ先／
伊方町役場 政策推進課 (担当) 山本
TEL 0894-38-2659
メールアドレス ikata@town.ikata.ehime.jp

鬼 北 町

● 鬼北きじ鍋祭り

● 平成25年2月17日(日) ※予定

● 鬼北町岩谷 鬼北町農業公社

鬼北町では、特産の「鬼北熟成きじ」を多くの人に味わってもらおうと、毎年2月に「きじ鍋まつり」を開催しています。

当日は、メインとなる「きじ鍋」のほか、「きじ飯」や「きじの串焼き」も販売。また、地元産の野菜や「ごぶろく」など、さまざまな店舗が軒を連ねます。さらに、昨年に引き続き「愛治ちんどんクラブ」が生演奏を披露。大いに会場を盛り上げます。ぜひ会場にお越しいただき、多くの鬼北の味を堪能してください。



●お問い合わせ先／
鬼北町役場日吉支所内 地域振興課
TEL 0895-44-2211



議長会第3回定例会を開催

優良議会に 松野町を推薦

愛媛県町村議会議長会は、12月7日自治会館において「平成24年度第3回定例会」を開催した。会議には、県内全町議会議長が出席し、次のとおり進められた。

1 開会

あいさつ 林会長

2 【新議長紹介】

三好松前町議長
土居上島町議長

3 会議録署名人の指名

林会長が議長となつて次のとおり指名した

政岡砥部町議長
齋藤愛南町議長

4 報告

(2)(1) 行事関係について
報告について

5 協議

以上の2点について事務局から資料に基づき一括説明があり、一同了承。

(1) 平成24年度町村議会表彰（全国町村議会議長会）について

事務局から、資料に基づく説明があり、協議の結果、本年度は松野町議会を推薦することに決定した。

(2) 愛媛県町村議会議長会財政調整基金規程（案）について

事務局から、資料に基づく説明があり、協議の結果、原案のとおり制定することに決定した。

(3) 平成25年度本会事業計画及び一般会計予算の方針について

事務局から資料に基づく説明があり、協議の結果、事業計画については原案のとおり決定。一般会計予算の編成方針については、基金規程に基づき編成した予算（案）を、次期定例会に提出することに決定した。

(4) その他

① 地方自治法改正と町村議会の取り組み

事務局から、資料に基づく説明があり、一同了承した。

② 次回定例会について

③ その他

「オスプレイ」に関する決議依頼があったが、9月27日開催の四国四県町村長・議長大会で採択しており、特別な対応はしないことの確認をした。

町議会事務局長会議 地方自治法改正説明会

11／28開催

愛媛県町村議会議長会は、11月28日午後1時30分から県自治会館において「平成24年度町議会事務局長会議及び地方自治法の改正に伴う説明会」を開催した。

会議には、県下9町議会から議会議長及び担当者18名が出席した。説明会の講師は、三宅全国町村議会議長会理事調査部長。

会議・説明会は次により進められた。

1 開会

あいさつ 渡部事務局長

3 町議会事務局長会議

(1) 「平成25年度事業計画（案）」について

(2) 愛媛県町村議会議長会財政調整基金規程（案）の設置について

(3) 「平成25年度一般会計予算（案）について」

それぞれ事務局から説明があり、次の議長会定例会に提出することとした。

4 地方自治法の改正に伴う説明会

① 地方議会を取り巻く国の動向

② 地方行政財政検討会議・第30次地方制度調査会の動き

③ 地方自治法の一部改正（第180回国会）

④ 「標準」町村会議規則等の改正（全国町村議会議長会）

○ 町村議会の取り組み

① 議会基本条例

② 議会基本条例

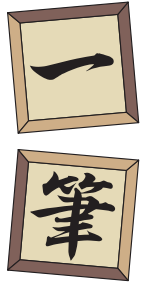
③ その他の議会改革事例

④ 地方自治法の一部改正に伴う「標準」町村議会議規則等改正の考え方

⑤ 本会議における公聴会・参考人制度の導入

⑥ 委員会に関する規定の簡素化
⑦ 通年の会期制度の創設
⑧ 政務活動費への名称変更等
⑨ その他の留意事項





納得する結末を

師走。年末の風物詩「第九」の季節がやって来た。クラシックの曲は『どうも：好きでは：。』の人も、ベートーベン交響曲第九番だけは、何となく耳に留めるコンサート曲である。近年、地震に脅威を感じながらもほとんどの人が素晴らしい住環境として満足の日本列島。今年も終わろうとしている。

しかし、今や上空間は物騒である。衣食住、特にその日の食べもの確保に日々奔走する大方の人々を尻目に、先軍に莫大な金を費やす我がまま？某国のとばっちり？は、今日、日本列島の上空も危ういものとしている。

「日本列島」は、静かな生活にうつつを抜かしていたわけではなかったはずだが、先の大戦後、驚異の復興をしたはずの経済は低迷。超がつく雨・風・雷・温度など自然の異変に加え、善良なる人心を逆撫でするような挑発行為と戦略の人為的な外圧は、このところ尋常ではない。

また、かつての「物」は充分でなかったが、上品で物静かなおもいやりの情と倫理が形成されていた日本社会も、少子高齢社会出現とともに、常識では理解し難い奇怪な事件が多発するなど、列島の地上も怪しい雲行きにある。そこで今直ちにやらね

ばならない事は、年末年始など関係なく、対策・対処方法の選択と即断行にある。

中でも手を入れるべきは、教育である。教育の徹底見直しは、将来の日本列島が懸っている。例えば、諸外国の中で子供達が一番優秀なフィンランドは、かつての詰め込み主義教育から「教わるのではなく、自分で考える」発想力をつける「教育改革」を実行し、経済不況から脱したと言われる。

実施前に、既に一部では失敗が解っていたはずのゆとり教育から、記憶術一辺倒で学力点数表記主義。

夢のない考え方・思考力不足、詰め込み主義と想えるものは急ぎ変革しなければならぬ。要は教育先進国をつぶさに研究し、さらに国民性を考慮した改革方策を創造しなければならぬのではないのか。大学数の多少など問題ではない、自然淘汰されるはずの程度であらう。

次に、『馬の耳に念仏』の諺が日本にはある。また、老子や孔子の言葉、素晴らしい理想の言葉も「聞く耳を持たない者」には、一切届かない現実を直視し、理解しなければならぬまい。この際、不実行は宗として、「目には目を」の対応策の構築も一応考えておくべき時代になったのではなからうか。方や外からの不条理な行為に、内がバラバラになり、愚直に納得する者がいては困りものである。その対応、考えこそはパスカルの『考える葦』を返上しなければならぬ。誠に持って寂しい時代になったものであ

る。

さて、『来年こそは！』都市も地方もそれぞれの役割を十分に發揮し、外に対しては、一丸となって結束、納得する結末を勝ち取りたいものである。

(T)

「無駄で、希望のない悲しみには、
なんの知恵もない」

(サミュエル・ジョンソン
英国の文学者)

12月の会と催し

- ▽3日＝平成24年度市町職員研修会
- ▽5日＝全国町村会政調幹事・災害共済幹事合同会議
- ▽6日＝全国市町村研修財団振興協会研修担当者会議
- ▽7日＝愛媛県町村議会議長会平成24年度第3回定例会
- ▽9日＝第32回障害者福祉推進愛媛県大会
- ▽12日＝愛媛県社会福祉協議会理事会、本会ホームページ更新に伴う講習会
- ▽13日＝地方制度調査会
- ▽19日＝愛媛県農業会議12月定例常任会議
- ▽20日＝四国四県町村会事務連絡会議
- ▽25日＝愛媛県町村会・愛媛県町村議会議長会会計監査
- ▽26日＝四国地区町村議会議長会会長会
- ▽27日＝野村證券講演会・研修会

編集後記

今年も余すところ僅かとなりました。歳末はいつもあつという間に過ぎていきます。そんな慌ただしい年の瀬に行われた衆院選挙は、劇的な結果となりました。これについて、彼は云々はできませんが、気になるのは投票率の低下です。せつかくの国民の権利です。大事にしなければ。

「どこまで続くぬかるみぞ」。長引く景気低迷や混とんとした国際情勢など、今、我が国はどんよりとした閉塞感に包まれています。でも悲観しているばかりでは何も始まりません。

「風は逆風の中で最も高く揚がる」と言います。難しい状況かもしれませんが、明日がある。明日があるさ♪と期待を込めて新年を迎えましょう。

風といえばお正月。はるか昔、子供のころはよく風揚げをしましたがいまはあまり見かけなくなりましたね。また、独楽を回したり羽子板なんかもあつたけど、時代は大きく変わりました。そういえば平成の御代も来年で四半世紀を迎えるんですね。嗚呼、昭和は遠くなりにけり。

この1年間お世話になりました。来年の干支「巳」は、助けてくれたことを忘れず恩返しをするという意味があるそうです。なかなかできることではないかもしれませんが、来年も一生懸命がんばりますので、いっそうのご支援とご協力をお願い申し上げます。